

新型コロナウイルス感染症予防の 全国一斉休校を受けて—— こども支援レストラン まるご福祉会が開設

上田市長瀬の社会福祉法人まるご福祉会では、新型コロナウイルス感染症予防の全国一斉休校を受けて、保護者不在の家庭の子どもを預かる「休校中子ども支援レストラン」を3日～19日に開設しました。

同法人理事の小室邦夫さんは「毎月『こどもレストラン』を開いています、20回目の3月分が中止に。職員から、『お母さんたちが休校中の子どもを預かりたい』という声が上がリ、併設する『ぐらんまるしえ』の利用者からも同様の話を聞き、社会福祉人の役目



として、今回の支援レストランを計画しました。

開設時間は8・30～16・00。対象は小中学生・特別

支援学級の児童・生徒らで定員20名。館内のきらりホールを居場所とし、机は感染予防のため離して配置。

事前申し込み制とし、同法人の看護師らが体温のほか

家族の体調を確認して預かりました。

取材日は9人が利用。持参した宿題をしたり用意されたゲームで遊ぶなどして

過ごし、昼食はぐらんまるしえのランチメニューから選択。飲み物はこどもレス

トラン用に企業などから提供された飲料でまかなって

いました。子どもたちから

は「ひとりではないので安心する。和む」ランチのカレーがおいしかった」などの声が聞かれました。

小室さんは「外遊びも行い、安心・安全に過ごしてもらえよう努力したい。困ったときは互いに助け合う輪が広がれば、と思う」と話していました。